

全体総括



実行委員会 副委員長
川北 秀人

昨日から本日にかけて、大変な天候の中、ご来場・ご参加くださり本当にありがとうございました。みなさんのご発表や、受賞された方々のお話、そしてシンポジウムでお話しして下さった方々、様々な方々の話をうかがっていて、来年もしもう一つ賞を加えるなら、「連携」や「広がり」に焦点をあてた賞を出すべきではないかと思いました。

特別シンポジウムでお話し下さった「日本一」の方々は、「たった一人の力ではなく、自分が取り組んでいること、一緒に目指していることの為に、まわりの多くの人たちの力も借りることができた」ということを、みなさん共通でお話しされていましたね。

「里山資本主義」も同じように、「自分だけの力でどうにかするのではなく、まわりの人たちの力を借りて何かを実現していく力」こそが、これからの未来にもものすごく大切な要素になっていくと思います。

小学校の方々はもちろん、とっくの昔に小学校を卒業された我々の先輩方も同様に、私たちみんな一緒の未来ですから、「私だけでがんばるのではなく、未来と一緒につくっていく」という想いに関する賞を、来年設けられたらと感じました。

今回、受賞された方も、残念ながら受賞できなかった方も、来年また来年の低炭素杯での賞を目指していただくとともに、もっともっといろんな方々を地域で巻き込んでいくことに結び付けていただきたく思います。

では、閉会に先立ちまして、みなさま一旦ご起立ください。今回この会場に集まったそれぞれの団体の方々の中には、同じ地域やご近所の方々がいるはずで、そういった他の人たちと新たなつながりを作っていたいただきたいと思います。他のチームの人たちの目をしっかり見て、お互いに拍手を送り合っていたいただきたいと思います。

どうもありがとうございました！

